



日本財団「海と日本 PROJECT」

ユースによる海洋ごみ対策キャンペーン（海と日本 2024）

報 告 書



2025 年 3 月

特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会



1. キャンペーンの趣旨

海洋ごみやマイクロプラスチックの問題は深刻ですが、少子高齢化が進んだ地方においてはごみ拾いをするボランティアが高齢化するとともに数が不足しており、問題に対する対処が十分にできていない状況です。

私たちは、海洋ごみの問題を「自分ごと」として捉え、主体的・積極的にアクションを起こしていくユースのリーダーを育成していくことを目的としています。主なターゲットは当協会に所属する2,700名の大学生であり、清掃活動をしている地域の高校生や中学生です。地域の高校生・中学生がイニシアティブを発揮して活動を企画・運営していくようにサポートしていきます。

そして、海洋ごみ問題はただごみを回収するだけでは解決しません。大量生産・大量消費・大量廃棄という今の社会のあり方そのものを転換していく必要があります。そのため、活動前には事前学習として海洋ごみ問題を中心とした環境問題について学ぶとともに、SNS等を通して社会にこの問題を発信していきます。

2. キャンペーンの概要・成果

このキャンペーンでは、以下の3つのことを実施しました。

(1) 海岸清掃や湖岸・河川・地域の清掃とリーダーシップトレーニング

- 台東区清掃 5月19日 参加者：IVUSA64名
- 飛島クリーンアップ 5月25日 参加者：IVUSA6名
- みなとみらい清掃活動 5月25日 参加者：IVUSA61名
- 甲子園浜清掃 5月26日 参加者：IVUSA10名
- 京都清掃 6月1日 参加者：IVUSA189名
- 山形県日本海清掃活動 6月15日～16日 参加者：IVUSA21名
- 渋谷清掃 6月16日 参加者：IVUSA28名
- 大阪府茨木市大正川清掃 6月29日 参加者：IVUSA61名、一般140名
- 横浜・みなとみらい清掃活動 6月29日 参加者：IVUSA14名
- 高崎清掃 6月30日 参加者：IVUSA31名
- 千代田区清掃 7月6日 参加者：IVUSA36名
- 淀川清掃 7月7日 参加者：IVUSA8名
- 長崎県白浜海岸清掃 7月7日 参加者：IVUSA16名
- 深草清掃 7月27日 参加者：IVUSA12名
- 京田辺清掃 7月27日 参加者：IVUSA5名、一般15名
- 鵠沼海岸清掃 7月28日 参加者：IVUSA5名
- 山中湖岸清掃とクリーンパトロール 8月1日～2日 参加者：IVUSA35名、一般43名
- 奈良清掃 8月10日 参加者：IVUSA48名
- 真鶴岩海岸 8月17日 参加者：IVUSA12名、一般2名
- 長崎県対馬市海岸清掃活動 8月24日～26日 参加者：IVUSA58名、一般178名
- 琵琶湖湖岸清掃 8月27日～28日 参加者：IVUSA58名
- 山形県日本海清掃活動 8月27日～31日 参加者：IVUSA61名
- 千葉県九十九里浜全域清掃大作戦 9月1日～5日 参加者：IVUSA230名

- 岡山県備前市日生諸島里海保全活動 9月6日～9日 参加者：IVUSA73名、一般35名
- 江ノ島清掃活動 9月7日 参加者：IVUSA6名
- 新潟県佐渡市海岸清掃活動 9月13日～16日 参加者：IVUSA54名、一般18名
- 新宿清掃 9月19日 参加者：IVUSA42名
- 大阪府堺浜清掃 9月29日 参加者：IVUSA36名
- 渋谷・原宿清掃 10月12日 参加者：IVUSA60名
- 京都府野田川清掃 10月12日～13日 参加者：IVUSA11名
- 渋谷清掃 10月12日 参加者：IVUSA51名
- 京都清掃 10月12日 参加者：IVUSA49名
- 三浦海岸清掃 10月19日 参加者：IVUSA10名
- 深草清掃 10月26日 参加者：IVUSA15名
- 高崎清掃 10月26日 参加者：IVUSA26名、一般27名
- 御前浜公園清掃 10月27日 参加者：IVUSA13名
- 野川清掃 11月9日 参加者：IVUSA3名
- 大阪清掃 11月9日 参加者：IVUSA10名
- 港区清掃 11月16日 参加者：IVUSA11名
- 難波清掃 11月17日 参加者：IVUSA33名
- 山形県日本海沿岸清掃活動 11月23日～24日 参加者：IVUSA33名
- 川崎清掃 11月30日 参加者：IVUSA24名
- 奈良清掃 12月7日 参加者：IVUSA11名
- 上野清掃 12月14日 参加者：IVUSA8名
- 高崎清掃 12月15日 参加者：IVUSA20名、一般6名
- 世田谷清掃 12月18日 参加者：IVUSA9名、一般10名
- 渋谷・大阪市街清掃 12月21日～22日 参加者：IVUSA61名
- 渋谷清掃 12月21日 参加者：IVUSA24名
- 深草清掃 12月21日 参加者：IVUSA7名
- 淀川清掃 12月22日 参加者：IVUSA38名
- 宇治川清掃 1月19日 参加者：IVUSA4名、一般4名
- 鴨川清掃 1月19日 参加者：IVUSA20名
- みなとみらい清掃活動 1月25日 参加者：IVUSA21名
- 渋谷清掃 2月3日 参加者：IVUSA13名
- 京田辺清掃 2月4日 参加者：IVUSA10名
- 東大阪清掃 2月5日 参加者：IVUSA28名
- 八王子清掃 2月11日 参加者：IVUSA21名
- 沖縄県石垣島海洋漂着ゴミ水際掃討大作戦 2月13日～15日 参加者：IVUSA56名、一般43名
- 川崎清掃 2月13日 参加者：IVUSA21名
- 京都清掃 2月13日 参加者：IVUSA32名、一般26名
- 大阪清掃 2月16日 参加者：IVUSA6名
- 猪名川清掃 2月22日 参加者：IVUSA19名
- 岡山県備前市日生諸島里海保全活動 2月22日～24日 参加者：IVUSA114名、一般8名
- アフリカからの留学生との渋谷清掃 2月23日 参加者：20名、一般38名
- 新宿クリーンアップ大作戦 3月2日 IVUSA12名、一般40名

- 山形県日本海沿岸清掃活動 3月4日～8日 参加者：IVUSA84名、一般11名
- 琵琶湖一周 240km 大作戦 3月5日～8日 参加者：IVUSA140名、一般13名
- 奈良清掃 3月10日 参加者：IVUSA8名、一般8名
- 長崎県対馬市海岸清掃活動 3月15日～17日 参加者：IVUSA77名
- 東京山手線一周清掃大作戦 3月19日 参加者：200名
- 新宿清掃 3月22日 参加者：38名
- 大阪環状線一周清掃大作戦 3月23日 参加者：246名、一般17名

合計 IVUSA2,997名、一般682名

※各活動の前に、運営メンバー向けにリーダーシップトレーニングを職員が実施

(2) 海洋ごみ問題に関する講演会・ウェビナーの実施

- 6月9日に学生インストラクターの養成講座をオンラインで実施（講師：NPO法人ボランティア活動推進国際協議会日本副理事長・福島 宏希氏）参加者7名
- 学生による海洋ごみに関するウェビナー 計33回実施、1,310名が参加（満足度：100点満点中85.9点）
- 2月1日にオンラインワークショップ「『海』と『森』から考える、私たちの暮らしと持続可能な社会」を開催、参加者20名

(3) 小中高生向け環境プログラム

- 大阪府茨木市天王小学校 6月29日 参加者：100名
- 長崎県対馬市峰地区公民館 8月25日 参加者：9名
- 岡山県備前市頭島あかりまつり会場 9月7日 参加者：29名
- 沖縄県石垣市伊野田集落センター 2月15日 参加者：8名
- 岡山県備前市ひなせかき祭会場 2月23日 参加者：30名
- 東京都渋谷区ワン・ディ・オフィス・トーキョー 3月2日 参加者：40名
- 滋賀県草津市琵琶湖博物館 3月8日 参加者：13名
- 長崎県対馬市対馬高校 3月15日 参加者：42名
- 初芝立命館高校 3月23日 参加者：17名

合計 288名

3. 活動の様子



6月・山形県日本海沿岸清掃活動



8月・山中湖岸清掃・クリーンパトロール



9月・千葉県九十九里浜全域清掃大作戦



6月・大正川の清掃と子ども向け環境教室

6月・横浜みなとみらい清掃



8月・長崎県対馬市海岸清掃活動



8月・琵琶湖湖岸清掃活動



9月・新潟県佐渡市海岸清掃活動



9月・大阪府堺浜清掃活動



9月・岡山県備前市日生諸島里海保全活動



11月・山形県日本海沿岸清掃活動



12月・渋谷区・大阪市清掃活動



2月・沖縄県石垣島環境ワークショップ



3月・新宿での環境ワークショップ



2月・アフリカからの留学生との渋谷清掃



3月・琵琶湖一周清掃



3月・対馬高校での環境ワークショップ

ゴーストギア対策の事例

- 中西部太平洋マグロ類委員会では2024年から、魚を集めるための仕掛け（集魚装置）にネットを使用することを禁止。



GGGI (Global Ghost Gear Initiative) 発行
漁具管理のための優良事例の指南書



2月・海洋資源管理に関するワークショップ

4. 参加者・関係者の感想・フィードバック

- ✓ 清掃中はとても暑く、心が折れそうになったが活動を共にする仲間と励まし合い最後まで海洋ごみ問題に向き合清掃中はとても暑く、心が折れそうになったが活動を共にする仲間と励まし合い最後まで海洋ごみ問題に向き合うことができました。(6月山形県日本海清掃活動)
- ✓ 初めて山中湖に来ましたが、美しい富士山や湖に感動しました。清掃活動ではそこまでごみが落ちてなかったのですが、山中湖村では住民の方々が定期的に清掃していると聞き、環境意識の高さに刺激を受けました。(8月山中湖岸清掃とクリーンパトロール)
- ✓ 毎回多くの大学生が来てくれていることに対して、心から敬意を表したいと思います。一緒に参加する子どもも、年2回大学生の方々と交流できるのを楽しみにしています。(8月山中湖岸清掃とクリーンパトロール)
- ✓ 対馬の海洋ごみ問題は予想以上に深刻でした。一方で対馬の美しい自然も体験できて、実際に清掃活動に参加できて本当に良かったです。(8月長崎県対馬市海岸清掃活動)

- ✓ 今回は回収結果もさることながら、皆様の活動姿勢、熱意が参加した対馬市民に伝わったように思います。皆様は被災地でボランティア活動を継続的に行っているでしょうから、体力には自信がおありだと思います。ただし年々気温が上昇している対馬での夏の海岸清掃の際は、くれぐれも無理をせず活動を続けてください。
(8月長崎県対馬市海岸清掃活動)
- ✓ ペットボトルなどのごみが想像以上に多く漂着しており、衝撃を受けました。また牡蠣漁の道具整備の際に漁師の方々と交流し、今後も現地に足を運び地元の方の支えとなりながら環境保全に取り組む必要があると強く感じました。(9月岡山県備前市日生諸島里海保全活動)
- ✓ 海洋ごみ回収やアマモ場再生活動など「里海づくり」や海洋プラスチックごみを活用した子ども向けワークショップ実施による海洋ごみ問題の普及啓発など、若さとマンパワー、アイデアによって地域の課題解決及び活性化にご尽力いただきました。(9月岡山県備前市日生諸島里海保全活動)
- ✓ 清掃活動を行っていると、海にいる方から声をかけてもらうことも多い。土地柄サーフィンをしている方から感謝されることが多く、清掃活動を通じたコミュニケーションが生まれる。ごみを拾わなくてもいい社会が多くの方に伝わるよう、これからも活動していきたい。(千葉県九十九里浜全域清掃大作戦)
- ✓ 佐渡ヶ島の自然や伝統文化に触れながら清掃活動を行いました。大野亀の絶景に魅了されたと同時に、大量の漂着ごみがあったことに衝撃を受けました。去年もこの活動に参加しましたが、ごみを拾っても時間が経つと元通りになってしまいます。そのため、IVUSA が掲げている「拾う心より捨てない心」を広めていき、今後も活動を続けていこうと思います。(9月新潟県佐渡市海岸清掃活動)
- ✓ 佐渡は大学がないので、子どもたちにとって大学生と交流できるのは非常に貴重な機会。今回は一緒に清掃する企画が中止となってしまって残念だが、次はぜひ清掃だけでなく、将来の進路やキャリアについて話し合う場を持ちたい。(9月新潟県佐渡市海岸清掃活動)
- ✓ 今まで海洋ごみ問題にあまり関心を持っていませんでしたが、実際に活動に参加してみると、その意識が大きく変わりました。海岸には多くのペットボトルや家庭ごみが捨てられており、拾うのはとても大変でした。しかし、活動後、集めたごみ袋を見て達成感がありました。そして、一人ひとりが海洋ごみに対する意識を変えていく必要性を痛感しました。(9月大阪府・堺浜清掃)
- ✓ 風や波が荒れている中の清掃で途中くじけそうになることもありましたが、学生一人ひとりが海洋ごみ問題の現状と向き合うことができました。活動終了後は大きな達成感がありました。(11月山形県日本海清掃活動)
- ✓ 海と共に生きる漁村の人にとって海は、生活の場であり仕事の場である。その場所がごみの最終処分場となっており地元の人で収集はしているが学生の皆さんのが手伝ってくれて心強い。(11月山形県日本海清掃活動)
- ✓ 街の人に清掃しているのを見てもらい、ごみを捨てにくい環境を作ることが必要(12月渋谷・大阪市街清掃)
- ✓ 今回石垣島の海岸清掃活動に参加してみて、海洋ごみの現状を知りました。粉々になった発泡スチロールや外国のペットボトル、漁網などが砂浜に埋もれていて、このごみはどこから流れてきたのだろうと感じました。一人の「これくらい良いだろ」という考えから生まれたポイ捨てがこういった環境問題に影響を与えていると感じ、今後も呼びかけや清掃活動をしていく必要があると強く思いました。(2月沖縄県石垣島海洋漂着ごみ水際掃討大作戦)
- ✓ ビーチクリーンをするときには、大学生の皆さんのマンパワーがあることが非常にありがたいです！(2月沖縄県石垣島海洋漂着ごみ水際掃討大作戦)
- ✓ 学生だけでなく、島民がもっと多く参加しなくてはならないと感じました。(2月沖縄県石垣島海洋漂着ごみ水際掃討大作戦)
- ✓ 日本人の学生と一緒にこのような活動ができる、とても楽しかった。今度は、もっと事前にオンラインミーティングなどをして、仲良くなつてから活動したい！(2月アフリカからの留学生との渋谷清掃)

- ✓ 初めてアフリカ出身の方と交流することができてとても刺激的でした。また、どのごみを拾うかということについて国ごと違いもあり（結構、ごみをスルーしてしまうこともあった）、興味深かったです。（2月アフリカからの留学生との渋谷清掃）
- ✓ 日生で親しみのある牡蠣殻と鹿久居島で採れたマイクロプラスチックを使ったアート作品を通じて、来場者の方とともに、マイクロプラスチックが里海に与える危険性と里海保全の重要性を認識することができました。（2月岡山県備前市日生諸島里海保全活動）
- ✓ マイクロプラスチックが引き起こす生物たちへの危険性を理解し、自分たちが排出するごみや海洋生物への意識を見直さなければならないと思った。（2月岡山県備前市日生諸島里海保全活動）
- ✓ 年齢の違う方や学校の違う方と交流でき、ごみ問題にも改めて向き合うことができたためよかったです。達成感もありましたが、ごみがかなり臭くて参りました。（3月新宿クリーンアップ大作戦）
- ✓ 庄内に住む友達のため清掃活動に参加した人もいる。ちょっとした理由でも行動を起こす人が増えていけば、きっと環境問題や地域課題の解決につながる。課題解決のハードルは高くないことをもっと多くの人に知ってもらいたい（3月山形県日本海清掃活動）
- ✓ 若い皆さんと交流ができ、パワーと刺激をいただきました。海岸漂着物の現状、対策、清掃活動など情報発信しつつ環境保全に努めていただきたいと思います。（3月山形県日本海清掃活動）
- ✓ 庄内に住む友達のため清掃活動に参加した人もいる。ちょっとした理由でも行動を起こす人が増えていけば、きっと環境問題や地域課題の解決につながる。課題解決のハードルは高くないことをもっと多くの人に知ってもらいたい。（3月琵琶湖一周 240km 大作戦）
- ✓ 楽しく、気持ちよく活動できました。良い機会を提供いただき、ありがとうございました。（3月琵琶湖一周 240km 大作戦）
- ✓ 対馬の海は何度行ってもごみの量と澄んだ海のギャップに驚かされます。大きな機械を入れることができない環境だからこそ、私たちが足を運び、私たちなりの活躍ができる場所だと再認識しました。（3月長崎県対馬市海岸清掃活動）
- ✓ 海洋ごみ問題についてだけでなく、大学生活や進路のことについていろいろ話すことができて楽しかったです。（3月長崎県対馬市海岸清掃活動）

5. 成果と課題

2024年度は大学生（IVUSA会員）・一般参加者ともに目標を達成しました。大学生の参加者は昨年に比べ700人以上増加しましたが、一般参加者は約80人の増加に留まりました。この原因としては、台風や雨などの悪天候により、一般参加を中止した活動が多かったことが大きいです。特に琵琶湖清掃や対馬市、佐渡市など大規模に実施する予定だったものが中止となったのは痛手でした。

大学生に対するトレーニングや企画・実施体制も順調に回るようになっている一方で、中高生のコアメンバーの育成が相変わらず課題であり、今後は高校や中学校のボランティア部やユネスコスクール、生徒会など学校組織との連携を強めていく予定です。

また、助成対象の事業ではありませんが、「国際プラスチック条約」に対するユースからの提言・啓発活動を、他団体と連携し「プラスチック若者会議」として実施しました。2024年11月に韓国・釜山で実施されたINC-5には、「日韓プラスチック若者会議」を開催しました。引き続き、清掃活動と並行して社会への発信も力を入れていきます。

特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂1-34-4 B-102

TEL/FAX 03-3418-1840

E-mail ivusa-office@ivusa.com

ウェブサイト <https://www.ivusa.com/>